

事務事業名	子育て応援講座事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	2012- 999017																								
	□ 実施計画事業		所属課室	子育て支援課	課長名	石川 美奈子																								
			所属担当	児童担当	担当者名	野田 剛																								
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																				
政策		17 社会福祉の充実		01	一般	03	02	01	040	15																				
施策		28 児童福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金																										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠																											
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 就学前(主に0歳～3歳児)の児童を養育する母親を対象に「アーバディーズ・パーフェクト・プログラム」による講座を開催し、参加者の交流を進めながら子育てに前向きになれるように支援する。 (H23年度は、安心こども基金事業として実施)		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)	<table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>講師謝金</td> <td>320</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他報償費</td> <td>335</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>674</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	講師謝金	320			その他報償費	335			消耗品費	19					計	674
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																											
講師謝金	320																													
その他報償費	335																													
消耗品費	19																													
		計	674																											

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容: 年2回開催 (1回当たり 2時間×8日間) 27年度活動予定: 年2回開催 (1回当たり 2時間×8日間)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 講座開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 講座開催回数	回	イ		ウ	
名称	単位											
ア 講座開催回数	回											
イ												
ウ												
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	就学前(主に0歳～3歳児)の児童を養育する母親	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 3歳未満の児童数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 3歳未満の児童数	人	イ		ウ	
名称	単位											
ア 3歳未満の児童数	人											
イ												
ウ												
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	子育てに不安をもつ母親が、講座を受講することによって子育てに前向きになれる。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 講座参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 講座参加者数	人	イ		ウ	
名称	単位											
ア 講座参加者数	人											
イ												
ウ												
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市の子育て支援に対する満足度が上昇する。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 「安心して子育てができる環境がある」と回答した市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 「安心して子育てができる環境がある」と回答した市民の割合	%	イ			
名称	単位											
ア 「安心して子育てができる環境がある」と回答した市民の割合	%											
イ												

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	558	541	674	677				
		事業費計(A)	千円	558	541	674	677	0	0		0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1					
		延べ業務時間	時間	60	60	76					
		人件費計(B)	千円	273	273	346	0	0	0		0
		(A)+(B)	千円	831	814	1,020	677	0	0		0
		活動指標	ア 回	12.0	12.0	16.0					
		対象指標	ア 人								
		成果指標	ア 人	29.0	26.0	22.0					
		上位成果指標	ア %	40.6	40.6	41.1					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	子育て支援団体「あんふぁんねっと」からの提案により、平成23年度に安心こども基金を活用して試験的に実施した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	核家族化や地域コミュニケーションの希薄化により、子育て中の母親が孤立化するケースが増加している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	乳幼児期の子育て環境は、子どもの成長に大きく影響することから、子育てに対する不安を軽減してもらいたい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	2年目の事業であるが、特段不都合がないので見直しは実施していない。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	上記理由により、改革改善なし。

事務事業名	子育て応援講座事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 講座を通して、参加した親子の相互交流により、孤立していた子育て家族(母親)が子育てに対し前向きになれる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 事業を開始したばかりのため、ある程度軌道に乗るまでは市の事業として取り組んだほうが効果的であるが、定着してきたら民営事業として実施することが望ましい。(市は事業を行う団体を支援する。) 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 実施主体はともかく、核家族化などにより孤立する子育て家庭が増加傾向にある中、“つながり”、“自信”を持たせるためには必要な事業である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 1クールの日数を前年度の6回から8回に増やしたことにより、より一層充実した講座になった。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 子育てに不安を抱いている母親たちの悩みを解決する場 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 参加者からの評判も良く、今後も孤立し不安を抱いている母親が減少することはないので、休止・廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限での予算計上のため、削減は困難である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 一人の職員が担当しているため、削減余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 託児費用の徴収について検討する余地がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	乳幼児を養育している母親が対象のため、託児は欠かせない事項であるが、受益者負担については今後検討していきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 現在、無料の託児について、負担金を徴収する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 どのくらいの負担金であれば子育て家庭に影響がないか、参加者にアンケート調査を行い検討する。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑧																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					